

令和8年度 門真市立上野口小学校 グランドデザイン

【第二中学校区 めざす子ども像】
自ら考え、学び、心身共に健やかで、
将来に向けて自立していく子ども

学校教育目標
人間性豊かで自立した子どもの育成

テーマ「共創」
～誰一人取り残さない学校づくりを目指して～

【上野口小の子どもが卒業時にめざしたい姿】
・自分で問いを立て、失敗を恐れずに実行し、学びを実生活に繋げる子
・自分を大切にし、まわりの人も大切にする子

研究主題
探究的な学びをととして、自分で課題を決めて解決しようとする力を育てる

【めざす教師像】
・変化を前向きに受け止め、学び続ける
・誰一人取り残すことなく教育的愛情をもって子どもと接する
・ファシリテートを通じ、チームとして力を発揮する

研究仮説：「人権教育と探究学習を教科横断型で取り組むことにより、子どもたちの主体的に解決する力は育まれるのか」

安心・安全

学力・体力

教育環境

	生活指導部／人権教育部	校内研究部／保体・文化部	教務部／校務部
重点	◎いじめを許さない学校づくり ◎一人ひとりを大切にし、子どもの人権を大切にするインクルーシブ教育の充実	◎探究的な学びの実践 ◎自他の心や身体を大切にする人間性の育成	◎調整授業時数制度の実践（サキドリ事業） ◎地域とともにある学校づくり(コミュニティスクール) ◎二中校区小中一貫教育推進協議会の充実
具体的な取組	◎多様性を意識した集団づくり及び人権学習の実施 ◎いじめ対策委員会、不登校対策委員会、校内支援委員会の定期的な実施 ◎校内教育支援ルーム「ステップルーム」の運営 ○二中校区ユニバーサルデザインの実践 ○健康教育の充実	◎「個別最適な学び」「協働的な学び」についての校内研修の実施 ◎「ルーブリック評価と学習ログ」の立案及び研究 ◎「探究的な学び」の研究推進 ◎読書・図書館活用学習の推進 ◎地域人材や企業・団体の活用 ○体力向上アクションプランの実践	◎裁量の時間（校内研修、児童主体の取組）の実施 ◎学校運営協議会の充実 ◎PTAとの連携 ◎小中9年間の共通カリキュラムの作成 ◎ロイロノート・AIドリルの活用推進 ○情報デジタルの適切な管理と運営
数値目標 (学校教育自己診断)	・学校に行くのは楽しい ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う ・先生たちはいじめなど私たちが困っていることに真剣に対応してくれる ・先生たちは、子どもを理解しようと努めている。	・授業では自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある ・授業では色々な問題に対して、自分で考え、自分から取り組んでいる ・失敗することを恥ずかしがったり、うまくいかないことを怖がったりせず、いろいろなことに挑戦してみたいと思う ・自分にはよいところがあると思う ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、活かしたりすることができると思う	・学校は、教育方針を分かりやすく伝えている ・学校行事の見直しや会議の精選など、学校全体で業務量の削減や長時間労働の改善に向けての働き方改革が推進されている。 ・ICTを活用した業務や授業が円滑に行える機器面・ソフト面の環境が整っている。